

JP165 宮古群島 (みやこぐんとう)

沖縄県：宮古島市、多良間村

位置	N 24° 47' E 125° 20'
面積	20,297ha

環境構成【島嶼／森林】

沖縄本島から南西に約 300km、東経 125 度、北緯 24 度に位置し、太平洋と東シナ海の間にある島。南西諸島西部の島嶼群宮古列島に属し、先島諸島の一部を成している。宮古島を含め、池間島・大神島・伊良部島・下地島・来間島・水納島・多良間島をあわせて、宮古群島と呼んでいる。宮古島は珊瑚が隆起してできた島で、主に琉球石灰岩からなっている。高い山がなく、最も高いところでも 113m と平坦な地勢である。森林植生は、植林されたリュウキュウマツが主体で、アカギ、タブ、オオバギ、ヤブニッケイ、アカメガシワなどがみられる。

選定理由

A2	ズアカアオバト
A4i	チュウシャクシギ
A4iv	-

保護指定

サイトの一部（10～49％）に法的な担保がある。

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（与那覇湾）、都道府県立自然公園（伊良部県立自然公園）、自然環境保全地域

保全への脅威

- ・観光等によるゴミ問題
- ・森林内での人間活動の広がり
- ・アジサシ類繁殖地への釣り人の進入
- ・干潮時に与那覇湾でのゴルフ練習及び犬の散歩、オートバイの乗り入れ

保全活動

- ・環境教育活動：実施者（宮古野鳥の会）

内容：探鳥会の実施（ガンカモ類、サシバ、アカハラダカ、山野の夏鳥等）、

自然観察会の実施（植物、昆虫等）、与那覇湾での干潟ウォッチング

見られる鳥

宮古群島は、沖縄島から南西約 300km の洋上にあり、サシバやアカハラダカの渡りで知られる。また、キンバト、ズグロミゾゴイ、オオクイナ、ムラサキサギ等の繁殖の北限にもなっている。宮古島の森林性の鳥は大野山林、シギ・チドリ類など渡り鳥は内海干潟（与那覇湾）などで見られる。現在、宮古諸島では約 330 種類の鳥が記録されている。

留鳥	ズアカアオバト、キンバト、カラスバト、オオクイナ、リュウキュウコノハズク、ズグロミゾゴイ、キビタキ、クロサギ、シロチドリ、シロハラクイナ、バン、カワセミ、ムラサキサギ
夏鳥	アカショウビン、サンコウチョウ パナリ岩礁ではクロアジサシ、マミジロアジサシ、ベニアジサシなどが繁殖
冬鳥	シロハラ、ビンズイ、メボソムシクイ、ジョウビタキ、ウグイス、キマユムシクイ
旅鳥	アカハラダカ、サシバ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウチャクシギ、オオソリハシシギ、アオアシシギ、トウネン、メダイチドリ、アオジ、アカヒゲ
迷鳥	クロツラヘラサギ、ナンヨウショウビン

関連団体・自治体・施設等

・宮古野鳥の会

